

歴史の里 しだみ古墳群について

小池 美槻



名古屋市内では**200基以上**の古墳が確認されているが、**約3分の1の66基**が上志段味にある。名古屋市は貴重な古墳群と周りの豊かな自然環境を将来にわたって守り伝えていくために「歴史の里 しだみ古墳群」として整備した。

1. 古墳って？

3～7世紀までの間に造られた王様や身分の高い人々が眠る墓。

2. 志段味古墳群 全66基 (現存33基)

前方後円墳：2基 円墳：50基
帆立貝式古墳：5基 方墳：1基 墳形不明：8基



白鳥塚古墳

前方後円墳

- 志段味で一番最初に作られ、一番大きい(約115m)
- 石英という白い石がたくさん出土
- 愛知で三番目に大きい

ヤマトタケルを運んだ白鳥を葬った古墳と言われているよ



志段味大塚古墳

帆立貝式古墳

- 埴輪は約500本
- 木簡の中は赤色(死者の魂をしずめるため)



7基は国指定史跡に指定されてるよ!



つじ塚古墳

東谷山白鳥古墳

尾張戸神社古墳

南社古墳

3基塚古墳

大久手

中社古墳



3. 埴輪って？

古墳の上や周囲に並べられた素焼きの焼き物
死者の魂を守ったりしずめたりするものだと考えられている



4. 野焼きと窯焼き

【野焼き】ザラザラ 【窯焼き】ツルツル

焼かれた時の温度や酸素の量で埴輪の色に違いがでる

5. どんな形の埴輪がある？

円筒 朝顔 水鳥 鶏 蓋(きぬがさ)



鳥 犬 魚 ムササビ 馬



身分の高い人がさす傘。悪霊から見えないようにするよ

家 船 人



生けにえの代わりとも言われているよ



6. 古墳時代中期に朝鮮から馬が来た!!

遺跡から出土した馬の骨・歯、馬具、馬の形の埴輪などの遺物が5世紀頃に馬の飼育が定着した証拠とされている
古墳時代の馬は体に対して、頭が大きいのが特徴



7. ニワトリは弥生時代に来た!!

弥生時代：『古事記』常世の長鳴き鳥
⇒ 時を告げる聖鳥として大事にした
古墳時代：祭祀や儀礼などで使われた
⇒ 鶏の埴輪



古墳について

古墳とは、昔の王や貴族、民の人々の墓

古墳の種類

古墳の種類は、形や大きさ、築造された時期によって大きく分けて、特別古墳、普通古墳に分かれています。

古墳群とは、古墳が複数集まっている場所を指します。大きく分けて、前方後円墳、前方後方墳、円墳、方墳、横穴式石室などに分類されています。

1. 前期

白鳥塚
心張戸神社
心張戸神社
心張戸神社

2. 中期

志段味大塚
西大久寺
西大久寺

3. 後期

勝守大塚
東大久寺

志段味大塚 帆貝式古墳

約39m
築造されたのは、古墳時代中期の西大久寺古墳群に属する。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。

東大久寺 帆貝式古墳

約39m
後円部
の2つの大穴の間に築造された。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。

西大久寺 帆貝式古墳

約39m
築造されたのは、古墳時代中期の西大久寺古墳群に属する。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。築造されたのは、西大久寺古墳群の築造された後である。

西大久寺 帆貝式古墳

約39m
戦後に西大久寺池の堤防が壊れたときに半分崩壊したため、現在は半分しか残っていない。

しだみ古墳群 ~古墳時代~

しだみ古墳群はどんな場所?

しだみ古墳群で古墳がつけられたのは西暦200年から500年くらいまでで、比較的古い時代のほうが大きく、新しい時代のほうが小さくなっていきます。なぜかというと、文化の改新の時、葬祭という身分に応じて墓の規模を制限する命令が出されたからです。それによって、大きな古墳が作れなくなりましたので、小さな古墳が多くなりました。

白鳥塚古墳は尾張地方の最初の王の古墳であるといえる。とても偉大な王がいたとされ、10mを超える前方後円墳で、古墳時代前期の代前期半につくられたとされている。発掘された3番目に大きな古墳です。10mもの古墳を4世紀につくったという正体は、とてはやくいわれています。

- 

白鳥塚古墳
約51m
- 

白鳥塚古墳
約39m
- 

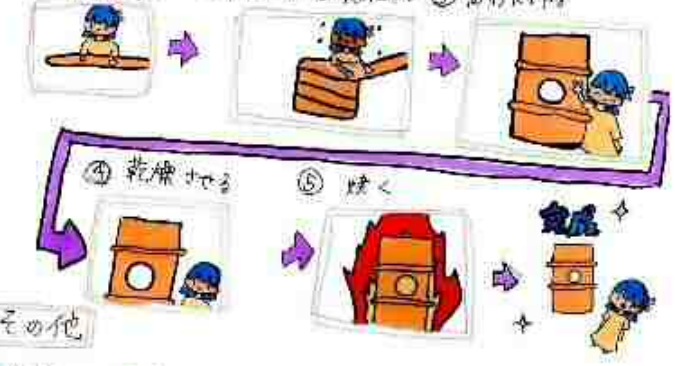
白鳥塚古墳
約37m



古墳から何が出土する?

埴輪
埴輪といったら、たくさん種類があります。例えば、おぼろの形、家や形、武人の形、イノシシの形などです。古墳の大きさによって、大きな埴輪がある傾向があります。

埴輪の作り方
①おんじをひたす ②おんじを積み上げる ③筒形にする



- その他
- 勾玉
 - 土器
 - 金銀の破片・遺具
 - 五鈴鏡
 - 石の矢
 - など

前田 優花さん

古墳時代の名古屋とは？

(山口沙耶)

古墳とは？

古墳とは、昔の王が、おむつているおほかのこと。

しだみ古墳群について

名古屋にある古墳の3分の1あたり、66きの古墳がしだみで見つかっている。

弥生時代 弥生時代の名古屋とは？

私が弥生時代の名古屋と想う所は、愛知県清洲市にある「朝日いせき」です。

古墳時代の年表 (しだみ古墳群中心)

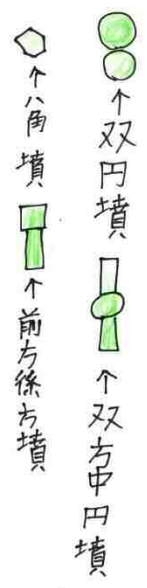
| | |
|------|---------------------------------|
| 古墳時代 | しだみ古墳群中心 |
| 250年 | 大和朝廷ができる |
| 300年 | しだみのあたりをしいしていた王が東谷山のあたりに古墳をつくった |
| 450年 | まじそうさされていた王はよろいもつまでした |
| 600年 | 王以外にもけんか者も古墳をつくるようになった |

古墳の種るいと形

しだみで見られる古墳の形



他にみられる古墳の形



朝日の土器とは？

「阿窓付土器」

朝日生まれの土器で、なぞが多い土器です。

なぞとは？
なににかわていたか分からないのか、なぞといわえている理由です。

私が田心うに「阿窓付土器」は、中身がみえないといけなもの、すくにとりなさないといけなもの、未完成の土器のホルダーなど、いろいろ思いつきます。かきとく、解時するといいなと田心といえます。

このイベントに参加してよかったこと、昔の時代について、前よりも、もっと知本を感じます。さきに、興味かわいど、この物はなににかわていたのか、を考えるきっかけになってよかったです。